

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年8月

コミッティ活動

Collateral: 担当森田(tmorita@isda.org)

8月6日、Japan Collateral Committee は会合を開催し、6月2日付の Fed Letter に述べられている、オペレーション上のコミットメント、すなわち、より高い頻度によるポートフォリオ照合システム、業界全体で紛争解決(Dispute Resolution)を行うためのプロセスに関する現状について、話し合いを行った。会合には、Operations Management Group(OMG)のメンバーが出席し、Dispute Resolution Protocol の詳細と背景にある論点、ポートフォリオ照合システムの実務上の問題点、紛争の解決方法などの説明を行った。

Operations: 担当難波(knumba@isda.org)

8月25日、外資系ディーラーメンバーによる会合が開催され、6月の Fed Letter に述べられている、CDSを対象とした電子プラットフォーム導入目標達成に向けた話し合いが行われた。参加者からは、導入開始の目標時期とされている9月末までに、より幅広いメンバーで構成される Japan Operations Committee の会合を開催し、本イニシアチブについてさらに検討すべきとの意見が出された。

Credit Derivatives: 担当森田(tmorita@isda.org) / 難波(knumba@isda.org)

8月4日、Japan CDS Standardization WG の第二回会合が開催され、日本市場に最適な新標準の内容について、より深い議論が交わされた。スタンダードクーポンとリカバリーレートについては明確なコンセンサスが得られなかったため、提案された選択肢について各々更に検討し、それぞれの項目について、翌週以降にEメールベースの投票を行うこととした。投票の結果、2009年12月のロール日より導入する新標準として3種のスタンダードクーポン(25/100/500)と、標準回収率(シニア35%、サブ15%)をWGの合意に基づく提案としてコミッティに提出することとなった。

8月26日、Japan Credit CCP Working Group の会合が開催され、日本銘柄を参照とするCDSを扱うクレジットCCP設立についての要望書原案について話し合った。当該CCPに求められる重要な項目を、以下の8点とした。1) CCP間のリンク、2) CCP参加者、3) 損益分析、4) 日本時間でのサポート、5) 対象範囲、6) 規制対応、7) ワークフロー、8) 稼働開始時期。

Equity Derivatives: 担当難波(knumba@isda.org)

8月6日、Japanese Dividend Swaps MCA amendments の修正版ドラフトがワーキンググループメンバーに回覧された。コメント締切日は8月20日。

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

8月27日、ISDA は日本銀行白川総裁と会合を行い、ISDA 最高責任者ロバート・ピッケルが、OTC デリバティブ取引の標準化、コラテラルマネジメントにおける効率化、オペレーションのインフラの改善とクリアリングの利用など、OTC デリバティブ市場の健全性確保のための、多岐にわたるイニシアチブについて説明した。ISDAはまた、金融庁を訪問し、山崎国際担当参事官、寺田市場課長と、欧米での規制強化の現状、OTC デリバティブ市場が将来向かうべき方向性について意見交換を行った。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Credit CCP Working Group (日本語による会議)	tbc
Japan Operations Committee (日本語による会議)	tbc
Japan Collateral Committee (日本語による会議)	tbc